

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：八幡市

重点目標	<p>「自然と歴史文化が調和し 人が輝く やすらぎの生活都市 ～自立と協働による個性あふれるまちづくり～」</p> <p>八幡市の主要課題                  人権を尊重しだれもが輝く地域づくり、これからの”八幡”を担う人づくりの推進                  地域資源を活かしたまちづくりと新しい都市イメージの形成                  みんなが安心して暮らせるまちづくりの推進                  活力あふれる人がつどう交流のまちづくりの推進                  健全な行財政運営と協働によるまちづくりの推進</p>		
	事業群	構成事業名	
	人がつどい、活力あふれるまち ～産業振興、交通、道路、情報通信～（事業群 e）	京阪橋本駅周辺拠点整備事業	
		バス停ベンチ設置事業	
		淀川三川ふれあい交流事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>○京阪橋本駅周辺拠点整備事業 橋本駅周辺を市域西部の生活交流拠点の場とし、人が集う活力あふれるまちとなる準備が出来た。</p> <p>○バス停ベンチ設置事業 バス利用者の利便を図り交通機関利用を促進し、エコ社会に向けた取り組みが出来た。</p> <p>○淀川三川ふれあい交流事業 ごみの不法投棄防止等の河川美化意識を高めることが出来た。</p>		
	<small>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</small>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		京阪橋本駅周辺拠点整備事業					
事業の概要		京阪橋本駅周辺の一体的な整備を行うことで、近隣都市との連携を形成する道路の整備を図るとともに、鉄道駅の生活交流拠点機能の充実及び市内外の人々のふれあい交流を図り、活力あふれるまちづくりの推進を目指すため調査設計を行った。					
		事業期間	平成21年6月24日～平成22年3月19日				
		総事業費	10,911千円	本年度事業費	10,911千円	交付金交付額	4,400千円
事業評価	事業の必要性	橋本駅周辺を整備し、生活交流拠点としての機能を充実させる必要がある。					
	事業の有効性	橋本駅周辺を市域西部の生活交流拠点の場とし、人が集う活力あふれるまちの推進となる。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 橋本駅周辺を市域西部の生活交流拠点の場とし、人が集う活力あふれるまちとなる準備が出来た。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		バス停ベンチ設置事業					
事業の概要	<p>市内路線バス、コミュニティバスの停留所にベンチと標柱を改良したコンパクトな即席ベンチを設置し、バス利用者の利便を図り、交通機関利用の促進につながった。</p> <p>ベンチ設置            88,200円×25ヶ所=2,205,000円            コミュニティバス標柱改良型ベンチ設置            6,930円×66ヶ所=457,380円            計 2,662,380円</p>						
	事業期間	平成21年5月28日～平成21年7月31日					
	総事業費	2,662千円	本年度事業費	2,662千円	交付金交付額	1,300千円	
事業評価	事業の必要性	バス利用者が快適にバスを利用できるよう、特に高齢者や障がい者、妊産婦等がバス待ちの間利用するために必要である。また、交通機関利用を促進し、エコ社会に向けた取り組みとしても必要である。					
	事業の有効性	バス利用者の利便を図り、交通機関利用の促進が期待できる。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 バス利用者の利便を図り交通機関利用を促進し、エコ社会に向けた取り組みが出来た。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		淀川三川ふれあい交流事業					
事業の概要	<p>人と人、動物、自然、文化がふれあい、淀川三川合流域から広く情報発信を行うことを目的に以下の内容でイベントを実施した。</p> <p>日時:平成21年7月5日(日)~7日(火) 場所:淀川河川公園背割堤地区 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕飾り(願い事短冊、園児七夕飾り、沿道の笹飾り、大きな七夕飾りなど)</li> <li>・鯉のぼり(個人から寄贈いただいた鯉のぼりや、園児自作の鯉のぼりの設置)</li> <li>・ライトアップ(フットライト、桜の木のカラーライト)</li> <li>・舞台イベント(吹奏楽、弦楽三重奏、太鼓、演劇など文化団体等の発表およびジャズコンサート)</li> <li>・ミニトレイン、竹細工教室、昔の遊び教室、ブース(商工会・自治体等のPR、地元特産品販売)</li> <li>・サマージャンボ宝くじの購入啓発(啓発ティッシュ配布)</li> </ul>						
	事業期間	平成21年6月30日~平成21年7月20日					
	総事業費	1,664千円	本年度事業費	1,664千円	交付金交付額	795千円	
事業評価	事業の必要性	木津川・宇治川・桂川の三川が合流する淀川三川合流域は、歴史・文化・自然が豊かな地域である。このイベントを通じて人と人、動物、自然、文化がふれあい、淀川三川合流域から広く情報発信を行う必要がある。					
	事業の有効性	第4次八幡市総合計画において示した三川合流部周辺の整備(集客力の高い広域的な公園としての整備、船着場の整備と舟運の復活、河川敷を利用した散策ルートを検討)や、水と緑のネットワークの形成。また、ごみの不法投棄防止等の河川美化意識を高める。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 ごみの不法投棄防止等の河川美化意識を高めることが出来た。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。